

進路だより

札幌市立札幌中学校
第3学年進路だより
2020. 10. 9
NO. 80

先日、札幌中学校推薦委員会が行われました。また職員会議でも以下の内容について確認されましたので、改めて推薦制度について大事なことをお知らせします。大切な内容なので保護者の方とも必ず確認してください。(進路のしおり44ページ～46ページにも掲載されています。)

I 推薦選抜を実施する学科

〔公立高等学校〕

①全日制普通科

※札幌国際情報高等学校と単位制普通科の高等学校。

※それぞれの高等学校の裁量による。(実施の有無は北海道教育委員会、札幌市教育委員会のホームページで確認できます。本校2階の掲示板に掲示しています。)

※入学枠は募集人員の20%程度です。学校によって変わる場合があります。

②全日制専門教育を主とする学科

※工業、商業、農業などの職業等に関する学科

※入学枠は募集人員の50%程度です。ただし、農業科と水産科に関しては入学枠は募集人員の100%となっています。

③総合学科

※入学枠は募集人員の50%程度です。

〔私立高等学校〕※それぞれの学校で独自に定められています。

II 出願資格

〔公立高等学校〕

①令和3年3月に卒業する見込みの生徒。

②その高校や学科に出願する動機や理由が明確である生徒。

③その高校や学科に対する適性、興味・関心及び学習意欲をもっている生徒。

④上記3項目に該当し、在籍する中学校の校長先生の推薦を受けた生徒。

※全日制普通科で推薦選抜を実施する高等学校では「推薦の要件」(志望してほしい生徒像)を公表しています。それに該当することも必要になります。

(「推薦の要件」に関しても北海道教育委員会、札幌市教育委員会のホームページで確認できます。こちらも掲示板に掲示しています。)

〔私立高等学校〕※それぞれの学校で基準が定められています。

☆札幌中学校では、推薦希望者を審査によって推薦に該当するかを検討し決定します。

公立私立限らずいろいろな学校の全ての推薦入学について、以下の基準を参照して審査されます。今回の学校推薦委員会・職員会議で、以下の内容が確認されました。

- 1) 推薦を希望する学校が第一希望で、出願する動機・目的・理由が明確で、適性・興味・関心及び学習意欲が十分である生徒。
 - 2) 公立高等学校普通科について
 - ①道教委の出願資格および各校が提示する「推薦の要件」を満たしていること。
 - ②一般受検しても合格する可能性があることと見込まれること。学習点については、前年度の推薦受検の結果を参照し判断する。
 - 3) 各高等学校が示す推薦基準や学校推薦委員会で設定した基準を満たしていること。ただし、自己推薦などの学校長推薦書を必要としないものは推薦委員会の対象としない。
 - 4) 部活動、生徒会、学級活動、特別活動等で顕著な実績があり、入学後も高等学校で活躍を期待できる生徒。
 - 5) 中学校生活3年間の校内外の生活・行動で問題がないと認められる生徒。
 - 6) 私立スポーツ等の特待生に関わる生徒の推薦についても、上記の基準を考慮する。
- ※以上の全てを満たすことが条件となります。

☆校長先生のお名前で札幌中学校の代表として推薦するため、

「誰がどのように見ても推薦生徒としてふさわしい生徒」

であることが必要で、以上の基準を元に厳しく審査されます。

☆【心がけましょう】☆ **あいさつ・みだしなみ・時間のけじめ**